# 公民館の“病い”を診断し、“治療”の方策を考える

関連キーワード:　公民館、経営診断・評価、フォルケホイスコーレ

## 研究内容

①公民館経営診断技法の開発

地域における生涯学習の中心的な施設の公民館を取り上げて、公民館の改善・充実の方法を研究しています。公民館の改善事例を収集し、これらの事例に共通に見られる公民館の「課題ー改善ー改善の成果」の組み合わせ（リンケージ）を探し出します。これは、医者が病気を治すときの「病名ー治癒状態ー治療」と同じ枠組です。

公民館の場合は、例えば、「利用者が高齢者に偏っているー実施する講座を座学から実習形式に変更したー多世代が利用するようなった」があります。この研究では多くのリンケージを開発し、公民館の“病い”を診断し、“治療”する方策を考案しています。

②フォルケホイスコーレの運営と評価の実証研究

デンマークには、17歳半以上であれば誰でも学ぶことができるデンマーク発祥の成人教育施設フォルケホイスコーレFolkehøjskoleがあります。フォルケホイスコーレは、19世紀半ば、農村青年の教育や民主的な国家形成などを目的に設置されたのが最初です。その後、国内各地に設置されますが、他の北欧諸国、ドイツ、大正から昭和初期の日本にも広がりました。最初の設置から180年がたつフォルケホイスコーレは、現在も民主主義の教育を標榜して運営されています。その運営の実態と評価の分析を通じて、社会教育施設の価値の設定と診断・評価の手法を研究しています。

## 研究者プロフィール

・地域総合学部地域コミュニティ学科教授　原義彦
・専門分野：社会教育学、生涯学習学
・研究分野：社会教育施設の診断・評価、デンマークの成人教育
・所属学会：日本生涯教育学会　他
・主な著書：『生涯学習社会と公民館』（日本評論社）、『デンマーク式生涯学習社会の仕組み』（ミツイパブリッシング）

## 地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

これまでに、次のような活動、委員等に関わりました。

- 国の生涯学習関連の審議会委員、アドバイザー等
- 自治体の社会教育計画、教育ビジョン等の策定
- 社会教育主事講習の企画、実施
- 社会教育・生涯学習関係行政職員、民間指導者等の研修
- 公民館職員の研修・ワークショップ
- 公民館の改善への助言
- 学びを通じたまちづくりに関する研修
- 学校と地域の連携協働に関する研修
- 住民の生涯学習とニーズの調査
- デンマークとの交流事業の支援　　他

## 研究者への連絡先

産学連携推進センター
Email　srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
電話　022-354-8122